

製品安全データシート

販売者情報	会社	LECO ジャパン合同会社		
	住所	〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 13 番 4 号 住友不動産芝ビル 4 号館		
製造者情報	担当	MSDS 担当者		
	電話番号	(03) 6891-5800	FAX 番号	(03) 6891-5801
	会社	LECO Corporation		
	住所	3000 Lakeview St. Joseph, Michigan 49085, U.S.A.		

整理番号 00150

改訂：平成 13 年 7 月 1 日

製品名（化学名、商品名等） **Manganese Dioxide (Reagent)**
マンガン ダイオキサイド（リージェント）

物質の特定

単一製品・混合物の区別	混合物	
化学名	二酸化マンガン	含水珪酸アルミニウム (カオリン)
成分及び含有量(wt%)	>90	<10
化学式又は構造式	MnO ₂	AL ₂ O ₃ ・2SiO ₂ ・2H ₂ O
官報公示整理番号 化審法	1-475	
安衛法	通知対象物質 550 特定化学物質等	非通知対象物質
PRTR 法	第 1 種 412	対象外
C A S No.	1313-13-9	1332-58-7
国連分類及び国連番号	該当しない	該当しない

 危険・有害性の分類

[二酸化マンガン]

分類の名称	: GHS 分類
物理化学的危険性	: 対象外または区分外
健康に対する有害性	: 標的臓器/全身毒性(単回暴露) 区分 1(呼吸器) 標的臓器/全身毒性(反復暴露) 区分 1(呼吸器、神経系、心血管系)
環境に対する有害性	: 分類できない



シンボル

 応急措置

目に入った場合	直ちに多量の水で 15 分間以上十分洗眼し、必要あれば眼科医の診察を受ける。
皮膚に付いた場合	水又は石鹼水で洗い流す。
吸入した場合	直ちに空気の新鮮な場所に移す。必要に応じて、酸素吸入、人工呼吸をする。医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	コップ 2 杯の水を与えるか、指を咽喉に入れ吐き気を催させる。意識がない場合は、絶対に口からものを与えてはけない。医師の診断を受ける。

 火災時の措置

消火方法	: 不燃性。周辺火災の場合は、高温で分解して酸素を発生するので散水冷却等の方法で高温にならないように注意する。
消火剤	: 当該物質を巻き込んだ周辺の火災に適切な消化剤を使用する。

 漏出時の措置

回収作業は適切な保護具を着用し、風上から作業する。

風雨等による際飛散の恐れのある場合はシート等で覆う等の考慮をして、下水、河川、海域へ流出しないようにする。

少量の場合は水で洗い流すか、掃き集めて空容器に回収する。

多量の場合は回収物の処分を専門業者に委託する。

 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 皮膚、眼への接触、及び吸入を避けるため防塵マスク等の適切な保護具を着用する。
 室内で取り扱う際は換気設備を設置する。
 製品容器は転倒、落下、衝撃又は引きずる等の破損につながる粗暴な取扱いをしない。
 取扱い後は顔、手、口等をよく水洗する。
- 保管 : 直射日光を避け、高温・多湿な場所は避ける。
 混触の危険性のある物質から離して保管する。

 暴露防止措置

- 管理濃度 : 1mg/m³(マンガン)
- 許容濃度 日本産業衛生学会(1991年度): 0.3mg/m³ (マンガン)
- ACGIH TLV-TWA : 5mg/m³ (マンガン)
 TLV-TWA : 10mg/m³ (カオリン・トータル)
 TLV-TWA : 5mg/m³ (カオリン・吸入)
- 設備対策 : 換気装置に留意する。作業場に洗眼、洗浄設備を備える。
 障害を早期に発見するため6ヶ月に1回の健康診断を受ける必要がある。
- 保護具 呼吸保護具: 防塵マスク
 保護眼鏡 : ゴーグル型
 保護手袋 : ゴム手袋
 保護衣 : 長袖の作業衣 (洗濯して毎日着替える)

 物理/化学的性質

- 外観等 : 黒色の粉末の固まった物質
- 沸点 : 分解する
- 融点 : 535℃
- 蒸気圧 : 適用外
- 溶解度 : 不溶性 (塩酸に溶解し、塩素を発生する。硝酸、アセトンに不溶。)
- 比重 : 5 (20℃)
- pH : 適用外
- 匂い : なし
- 揮発性 : 入手不可
- 吸湿性 : あり

危険性情報

- 引火点 : なし
- 発火点 : なし
- 可燃性 : 不燃性
- 安定性・反応性 : 化学的に安定である。
535℃で分解、酸素を発生して Mn_2O_3 となる。
- 混触等 : 可燃性物質、塩素酸塩類、アルミニウム粉、硫黄、その他の酸化剤。
高熱を避ける。

有害性情報

- 二酸化マンガンの人体吸入 $TCLo$ $2.3mg/m^3$
高濃度の長期暴露はマンガン中毒、中枢神経疾患を引き起こす。
- カオリン : 長期間吸入はケイ肺を引き起こす。

環境影響情報

- 魚解性、蓄積性、魚毒性 : 知見なし

廃棄上の注意

廃棄する場合は関係法規に従って処分するが、認可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託することが望ましい。

輸送上の注意

輸送の際は、容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
輸送に関する法令に従う。

適用法令

二酸化マンガンの

- 労働安全衛生法 : 施行令第18条の2 別表第9 (名称等を通知すべき有害物質) 550
: 施行令別表第3 特定化学物質等 (第2類物質)

化学物質管理促進法: 施行令第2条 別表第1 (第1種指定化学物質) 412

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

カオリン

塵肺法

粉塵障害防止規則

その他

- 参考文献 本製品の英文 MSDS(1/11/99) : LECO Corporation
製品安全データシートの作成指針 : 日本化学工業協会
化学便覧 : 丸善
化学品安全管理データブック(1996年) : 化学工業日報社
化学品安全管理データブック CD-ROMver.2.0 : 化学工業日報社
労働安全衛生法 MSDS 対象物質全データ : 化学工業日報社
化学物質管理促進法 PRTR・MSDS 対象物質全データ: 化学工業日報社

作成 : 平成 13 年 7 月 1 日

改訂 : 平成 13 年 8 月 20 日 (法令見直し)

平成 22 年 3 月 4 日 (法令見直し)

平成 23 年 7 月 11 日 (住所変更)

- * 記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、必ずしも万全なものではなく、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。製品の取扱いには十分に注意してください。

尚、新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正することがあります。